

学問のすすめ

通知表「のびゆく子」について（パート2）

「学問のすすめNo.2」でお伝えしたとおり、今年度から観点^{かんてん}が4つから3つに変わりました。ここでは、その観点別の評価^{ひょうか}について、ご説明^{ごせつめい}します。

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
各教科等における学習過程を通して知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既 ^き 有 ^{ゆう} の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうか評価する。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価する。

上記にあるように、「主体的に学習に取り組む態度」は太字の波線部分を評価しています。

そして、3つの観点を次のような方法で評価しています。

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト 児童が文章による説明をしたり、各教科等の内容の特質に心じて、観察・実験をしたり、式やグラフで表現したりする活動等 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト 論述やレポートの作成 発表 グループや学級における話し合い 作品の制作や表現等 	<ul style="list-style-type: none"> ノートやレポート等における記述 授業中の発言 教師による行動観察 児童による自己評価や相互評価等

【埼玉県教育委員会より】

以上のように、ペーパーテストだけでなく、「授業中における態度（発言や発表含む）や「ノートやプリント等の記述」なども評価しています。

通知表は、お子さんの学校生活での様子を知る一つの資料です。また、通知表の評価が全てではありません。通知表を活用し、お子さんの現在の状況を確認し、今後の励みになるようなお声かけをしていただけたらと思います。サッカー元日本代表の本田圭佑選手は「結果にこだわらな、成功にこだわらな、成長にこだわらな。」という言葉を残しています。ぜひ、結果だけにこだわらずに、今後のお子さんの成長の一助にいただければと思います。